

令和3年度 第3回北広島市上下水道事業経営審議会

日 時：令和3年12月22日（水）09：30～10：45

場 所：北広島市役所5階 委員会室

出席者：（委 員）

高橋会長、細谷副会長、関谷委員、田中委員、原口委員

檜山委員、廣上委員、吉岡委員（8名）

（事務局）

藤縄水道部長、木村経営管理課長、佐々木下水道課長兼アクア・バイオマスセンター長、中田経営管理課主査、鈴木経営管理課主査、名和経営管理課主任（6名）

≪議事概要≫

1 開会

2 会議成立報告

事務局：委員8名中、8名出席で、北広島市上下水道事業経営審議会条例第5条第3項の規定により、会議成立を報告

3 議事録署名委員の指名

高橋会長より廣上委員を指名

4 案件

（1）下水道ビジョン・経営戦略（案）について（全8章）

事務局より説明（前回、指摘のあった部分等について（第1～7章））

〈質疑応答・委員からの意見等〉

A 委員 : 事務局で作成した管路施設の改築シナリオの図表を経営戦略の中に盛り込むべきか他の委員に意見を伺いたい。

B 委員 : 図表になっていればわかりやすいため掲載に賛成。

C 委員 : 掲載に賛成。

D 委員 : 賛成。

E 委員 : 賛成のみの意見のため、掲載を事務局に対して依頼する。

D 委員 : 14ページの北海道内35市の下水道使用料のグラフに全国の類似団体平均を追加しているが、比較年度を直近の年度に変更は可能か。

事務局 : 全国の類似団体平均については、最新データが令和元年度となるため、変更せずに掲載する。

D 委員 : 70ページの長期推計は、標準の耐用年数を使って考えているのか。または、目標の耐用年数を使って考えているのか。

事務局 : 標準の耐用年数は50年であるが、ストックマネジメント計画を進めていく中では、修繕等を繰り返し、おおむね70年から75年ぐらいの実際の耐用年数で考え計画を進めている。

D 委員 : 資産維持費について、例えば、北広島市の水道事業の資産維持率は何%で設定されているのか。

事務局 : 水道の経営戦略の中で、資産維持費は計上していない。

E 委員 : 75ページの資産維持費が3%で計算されているのは、試算として3%を使っているのか。

事務局 : 水道の資産維持率は、3%が標準として全国的に示されている。下水道については示された数値がないため、このような記載としている。

事務局より説明（第8章）

〈質疑応答・委員からの意見等〉

E 委員 : 第8章はどのような意図で掲載しているのか。

事務局 : 今後に向けて課題の整理という意味合いで掲載している。

B 委員 : 78ページの下水道使用料シミュレーションでは、基本料金の廃止シミュ

レーションは行わないのか。

事務局：基本料金については、企業債の償還費、減価償却費などの固定的な経費はなるべく基本料金で賄っていくことが安定した経営を持続する上で重要なため、基本料金の廃止は考えていない。78ページで示しているのは、基本水量の話となっている。下水道の整備段階では接続促進という考えもあり、10m³までは同じ金額の基本水量を設定したが、少子高齢化が進行しており近年は基本水量制の廃止が全国的な傾向である。水道料金の体系も1m³からの従量制となっており、下水道使用料についても水道料金と合わせて今後見直すべきではという意味合いで掲載している。

C委員：参考までに、去年または今年の各家庭の使用水量の平均を掲載した方が良いと思う。

事務局：第8章は下水道使用料水準見直しの検討についての頭出しとしての意味合いがある。そのため、今回の下水道使用料のシミュレーションには、来年度以降に経営戦略の中で実施するかについて、審議会で検討していただきたいと考えている。

A委員：下水道使用料シミュレーションの前提として、将来的に料金水準見直しの検討を進めていると入れるのはどうか。

事務局：一定の水量までを同一料金とする基本水量制については、節水努力が報われない点において改善すべきものと考え、78ページの下水道使用料シミュレーションに関連するように内容を修正していきたい。

D委員：1つ目は下水道使用料体系の表記について、基本水量制では節水努力が報われないということから、従量料金制に変えた場合のメリットとデメリットを見せたほうが市民の方はわかりやすくなると思う。2つ目は77ページの基本水量以下の使用割合の推移のグラフについて、何を示しているのかわかるようにしていただきたい。

事務局：1つ目のメリットデメリットの記載については検討する。2つ目のグラフについては、ラベルを追加する。

E 委員 : 北広島市としてのネーミングライツの考え方はあるのか。全国的にネーミングライツをやっている例もあれば教えていただきたい。

事務局 : 北広島市は、財源確保対策として行財政改革の改革項目に位置づけ、今年度実施要綱を制定している。下水道については、今後雨水調整池についてネーミングライツを募集する方向となったため、今回追加で記載させていただいた。上下水道事業のネーミングライツは、全国的に非常に少ないが、事例としては、名古屋市下水道科学館や京都市の配水池があり、数件確認した程度となっている。基本的には上下水道事業としては、財源確保対策としてネーミングライツの可能性のあるものは、今後随時実施していきたいと考えている。

D 委員 : 59ページと71ページの企業債償還額・借入額と企業債残高の見通しの図表は同じだと思うが、メモリの幅が異なっているのは理由があれば教えていただきたい。

事務局 : グラフの見やすさを考えてメモリの幅を変えている。

5 その他

事務局 : 次回審議会の日程等について説明

6 閉会 (10時45分終了)

以上、会議のてん末を記録し正確を期するため、ここに署名する。

令和 年 月 日

議 事 録 署 名 委 員 _____